

J Grantsを活用した 補助金の電子申請化の推進事例について

デジタル庁では、2025年度以降の全ての事業者向け補助金申請について、原則電子化を目指し、事業者や行政機関のJグランツ利用開始を支援する取り組みを進めています

2025年度以降、事業者向け補助金の電子申請対応を原則とする方針が重点計画で示されています。Jグランツを活用することで業務負荷の軽減が期待できるため、来年度の補助金申請に向けて積極的な活用をご検討ください。

なお、地方分権改革会議からの提案においては地方公共団体向けの補助金等も確認ができるように求められているため、積極的なJグランツへの掲載をご検討ください。

▼デジタル社会の実現に向けた重点計画(令和6年6月21日)

○ 各省庁における事業者向け行政手続・補助金申請等のデジタル化

事業者向けの行政手続・補助金申請においては、デジタル庁が整備した調査ツールによる各省庁の状況調査を行い、引き続き、各省庁はデジタル化に関する取組を推進する。特に年間手続件数の少ない行政手続についてはデジタル庁が整備した共通機能の活用等を通じて、各省庁において効率的なサービス開発を進め、費用負担の低減を目指す。また、各省庁において、重要度が高く、大規模な行政手続システムについては、システムのモダン化の検討を行う。

事業者向け補助金申請については、J グランツを改修し対応可能な補助金の種類数を増加させることで、2025年度以降、各省庁において、事業者向け補助金の電子申請対応を原則とすることとし、事業者による電子申請率の向上を図る。

▼地方分権改革会議提案募集検討専門部会より再検討に向けたコメント

提案募集検討専門部会からの主な再検討の視点（重点事項）

現在、Jグランツにおいては、事業者に対する直接補助金の掲載が多くを占めている。今後、地方自治体にとっての利便性を上げるため、間接補助金や地方自治体が最終受益者となる交付金も確認できるよう、Jグランツを活用する補助金の要件を見直すなど、地方自治体のニーズを踏まえた検討を進めていただきたい。各地方自治体に適した補助制度を提案する機能を追加するなど、補助制度の調査に係る職員の負担軽減に向けた検討を進めていただきたい。

既に一部の補助金で代理申請の受付を開始
いただいています！

令和7年1月31日より、Jグランツで代理申請が可能となりました。
Jグランツをご利用いただいている補助金事務局のご担当者さまは、補助金セットアップ画面
から「代理申請を可能にする」と設定ができます。ぜひご活用ください。

事業者の皆さま

士業者等の皆さま



☑ 委任・受任の設定



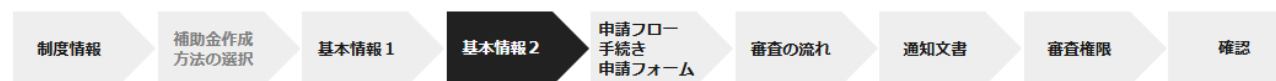
☑ 代理申請のやり取り



代理申請受付するための設定方法

代理申請の受付は、補助金ごとに個別に設定する必要があります。補助金セットアップの「基本情報2」にある「代理申請を可能にする」の項目で、「可能にする」を選択してください。（下記赤枠部分）
また、**申請受付期間中でも、代理申請可能に変更できます。**

▼事務局管理者の補助金セットアップ画面



基本情報2

補助金情報のうち、「条件・期間」として表示される内容や、jGrantsでどのような機能を利用するかを入力してください。

jGrantsで利用する機能

jGrantsの申請受付機能を利用する

利用する 利用しない

複数回申請を可能にする

可能にする 不可能にする

複数の営業所を有する事業者に対して営業所ごとの申請を許可する等、1つの補助金に対してGビジネスIDプライムの単位で2件以上の申請を可能とするか選択してください。

代理申請を可能にする

可能にする 不可能にする

事業者が指定した第三者（行政書士等）からの申請を可能とするか選択してください。

代理申請を可能にすることで、事業者が委任した第三者（行政書士等）が事業者の申請提出に関するサポートを実施できます。

テストモードにする

設定する 設定しない

テストモードに設定し、事務局が自身のGビジネスIDを利用して申請を提出することで、本番で設定済みの申請フォームを使って審査の流れをテストできます。

テストモードの態に提出された申請は、事務局が審査する際「テストモードで提出された申請」として実際に提出された申請と区別して管理できます。

詳細は、[操作マニュアル（事務局管理者用）](#) III章内「2-2. 補助金情報の作成」を参照してください。

事業者から見た代理申請機能

補助金検索画面から、代理申請が可能な補助金が検索できるようになっております。
また、代理申請がお試しできる環境を公開しておりますので、ぜひJグランツのTOPページよりご活用ください。

▼事業者から見た補助金検索画面イメージ

補助金を探す

検索

キーワードを入れてください

補助金の検索条件に追加

条件から探す

従業員数

対象地域

テーマから探す

利用目的

募集中の補助金のみ

検索

99 件中の 1 件目 ~ 20 件目を表示

補助金名	補助金上限額	社会福祉	Jグランツの	募集期間
202501テスト補助金	100,000,000 円	全国	可能	2025年1月1日 ~ 2025年2月15日
テスト補助金2025	10,000,000,000 円	西職業	可能	2025年1月28日 ~ 2025年2月20日

▼代理申請のお試し環境を公開中

練習用ダミー補助金（代理申請可能）

【この補助金は練習用のダミー補助金であり、申し込んでいただいても、実際に補助金が支払われることはありません。ご本人名義での申請のほか、代理申請にも対応しています。何回でもお試しいただけます。】

練習用補助金の要綱要領

■目的・概要

代理申請をテストしていただくための補助金です。
Jグランツの申請機能や、代理申請機能をお試しいただくためのダミー補助金です。以下の、架空の補助金制度を題材にしています。

（架空の補助金制度）

- ・職場環境の改善のため、職場にウサギ小屋を整備しようとする法人に対し、ウサギの飼育頭数×5,000円の補助を行います。
- ・また、ウサギの健康保険費用、チモシー代、衛生的な水飲み場の整備、ウサギの睡眠環境の整備も補助の対象となります。

練習用補助金申請フォーム

補助事業に要する経費（合計）

ウサギの飼育

補助対象経費（合計）

補助金交付申請額

Jグランツでは、よく寄せられるご質問に対して以下の対応を想定しております。

本ご紹介

1. Jグランツを使っているが、紙で申請する事業者が多い…

⇒電子申請のインセンティブ(審査の加点・優先順位付け・交付額上乘せ等)の導入をご検討ください！

2. 何とか補助金をセットアップしたが申請を受付けられるか不安…

⇒審査担当者が申請フローのリハーサルを行うことができます！

3. Jグランツの便利な機能や導入の成功事例を知りたい

⇒ノウハウを共有いただくため、共創PFにSlackチャンネルを開設いたしました！

4. Jグランツの始め方が分からない

⇒毎月オンラインセミナーや個別相談会を開催しております！

5. 電子申請が初めての事業者はどう案内したら良いか分からない

⇒申請手段の一つとして、行政書士等向けの代理申請機能がリリースされます！

6. 補助金・助成金以外も電子申請で受け付けたい

⇒地方公共団体を補助対象とする補助金(交付金等)の掲載も可能です！

中小企業庁にて実施されているインセンティブ導入事例

• 工夫のポイント

- 電子申請を促進することで、申請者・事務局双方の負担を軽減できるように、R5年度より「共同・協業販路開拓支援補助金」にて、**インセンティブの導入（審査時の点数調整）**が開始されました。
- 申請方法を電子のみに限定すると、申請者の負担が大きいため、紙での申請方法も残しつつ、申請者にメリットがある仕組みにすることで電子申請化率の向上を図られています

• メリット

- 直近の実績では、**約8～9割が電子申請**で行われており、インセンティブ導入の効果が実感されています。
- 他の補助金事務局の方々からは、郵送・電子の2つの受付窓口がある中で、**電子申請の割合が3割を超えると事務負担の軽減が実感できるという声も寄せられています**。是非、電子申請のインセンティブについてご検討ください！

▼補助金の公募要領にも記載

(2) 応募書類・提出方法

申請書類一式は原則、電子申請により提出すること。

※補助金申請システム（名称：J グランツ）を使用せず、郵送で申請を行った申請者については、審査において減点調整を行う。

Jグランツで多くの補助金を掲載している東京都のご担当者様に、電子申請を促すための工夫・メリットを伺いましたので、その一部をご紹介します。

- 工夫のポイント

- 公募開始前に**補助金担当者が申請者側の画面を一通り操作し、申請や審査の流れを把握**しておくことで、申請者からの問い合わせにもスムーズに対応できます。

- メリット

- 事業者の皆さま

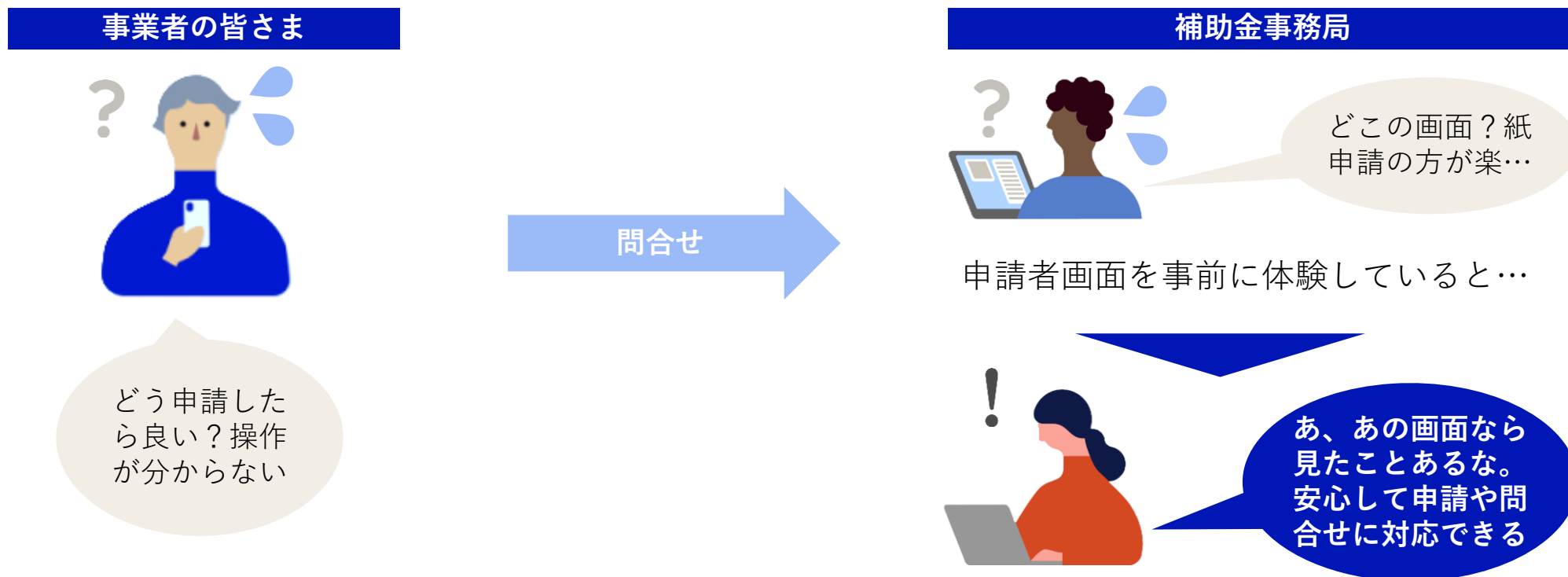
- オンラインで補助金申請が可能になることで、**交通費・郵送費等のコスト削減**、過去に申請した情報の**自動入力**、書類への**押印が不要**になる、といったメリットがございます。

- 補助金事務局

- 紙申請の場合、印鑑証明書と申請書の印影照合が必要となる場合がありますが、**国が本人確認を行っているGビズIDを用い、Jグランツ経由で申請された場合は、事業者本人の申請とみなせる**ため、再確認の手間が省けます。
- 電子申請の割合が増えることで、**事務負担が軽減され、業務をより効率的に進められます。**

補助金申請電子化に向けた取り組みのお願い

- Jグランツをご利用中の担当者さまは、代理申請の設定と周知をご検討お願いいたします。
- 電子申請の普及に向けて、Jグランツの活用と今回ご紹介した施策の導入をご検討ください。
 - 東京都の事例) 公募開始前に事業者から見た申請画面を事前に体験



共創PFにJグランツ専用チャンネル開設！情報発信&交流の場へ参加しませんか？

このチャンネルでは、Jグランツに関する最新情報の配信や、利用者同士の交流を行います。

- **Jグランツの新機能を定期配信**

- ▶ 新機能をリリースの内容や活用方法を発信します。

- **Jグランツの導入サポート**

- ▶ ご利用開始に関する疑問やお困りごとをお気軽にお問合せください！

- **Jグランツ利用者の情報交換&交流会**

- ▶ 利用者同士で、お悩みや活用の工夫を共有できる場を開催予定です。

共創PF登録の詳細は
こちらから！

共創
PLATFORM



<https://www.digitall.go.jp/get-involved/co-creation-platform>

デジタル庁

Digital Agency